

政策 33 生活利便性の向上

施策 01 地域情報化の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	ICTの利活用による利便性の高い行政サービスが提供されます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	地域情報化の推進による市民満足度	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【行政管理課】	%	-	68.8	-	→
評価	<p>(状況) 地域情報化の推進による市民満足度は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。これまでの市民アンケートの回答結果では、ほぼ横ばい傾向ですが、ホームページのアクセス件数が増加していることなどから、成果は向上していると推測されます。スマートフォンやタブレット端末などの機器は、若年層のみならず、あらゆる世代で利用されるようになり、市民生活に必要な情報の取得が日常的に行われるようになった結果、ICTを活用した行政サービスの利用が進んでいると考えられます。</p>						<p>目標達成度</p>

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 ICTの活用による市民サービスの向上

基本事項 02 ICTの活用による業務改革の推進

基本事項01 ICTの活用による市民サービスの向上

指標①	須賀川市のICTサービスを活用している市民割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【行政管理課】	%	-	51.6	-	→	
評価	<p>(状況) 市のICTサービスを活用している市民割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。これまでの市民アンケートの回答結果では、ほぼ横ばい傾向ですが、市ホームページの活用、証明書コンビニ交付、市税等のコンビニ納付やクレジット納付の利用割合が高くなっています。証明書コンビニ交付、市税等のコンビニ納付やクレジット納付は、市役所に来庁することなく、休日や夜間などでも利用可能なサービスであることから、利用率が高くなっていると推測されます。</p>						---
		目標達成度	---				

基本事項01 ICTの活用による市民サービスの向上

指標②	市ホームページのアクセス件数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【行政管理課】	件	1,858,579	2,011,632	2,293,856	→	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 市ホームページへのアクセス件数は2,293,856件で、前年度と比較し約14%増加しています。 (原因) 幅広い年齢層でスマートフォンやタブレット端末が普及し、インターネットを活用して情報検索する人が年々増えていることが要因と考えられます。</p>						目標達成度

基本事項01 ICTの活用による市民サービスの向上

指標③	電子メールなどを活用して市民提案を行った割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【秘書広報課】	%	46.3	35.2	21.7	→	☂ (低下)
評価	<p>(状況) 電子メール及び画像投稿システム「レポナウすかがわ」を活用して市民提案を行った割合は21.7%で、前年度と比較し13.5ポイント減少しています。 (原因) 平成29年12月から運用を開始した「レポナウすかがわ」には21件の投稿がありましたが、市民提案直通便は提案159件のうち、電子メールでの提案は18件で、前年度と比較し19件減少しました。これらを合わせた電子メールなどでの提案は39件で、前年度と比較し2件増加しましたが、新庁舎の開庁に伴い、市役所内の「市民の声箱」への提案件数が大幅に増加(101件増)したことから、電子メールなどを活用して市民提案を行った割合が減少しました。</p>						目標達成度

基本事項02 ICTの活用による業務改革の推進

指標①	基幹系システムダウン回数(保守点検時除く)	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【行政管理課】	件	0	0	0	→	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 市民サービスに影響するような事故、障害等の発生もなく、安定稼働が図られました。 (原因) クラウドサービスの利用やサーバ機器等の集中管理、定期メンテナンス及びバックアップの実施、システム運用におけるSLA調査の実施など、基幹系システムを停止させないための運用管理がしっかりと出来ていた結果と考えられます。</p>						目標達成度
		☑ (達成)					

政策 33 生活利便性の向上

施策 02 公共交通網の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	交通不便地域が解消され、移動手段が確保されています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	公共交通が利用しやすいと思う市民の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【生活課】	%	-	67.2	-	
評 価	(状況) 公共交通が利用しやすいと思う市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、平成29年度の各種バス年間利用者数が微増しており、市内循環バスや乗合タクシー事業が認知され、公共交通の利便性は向上していると考えられるため、成果も向上していると推測されます。						---

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 総合交通体系の推進
基本事項 02 交通弱者や交通不便地域の解消
基本事項 03 福島空港の利活用推進

基本事項01 総合交通体系の推進

指標①	各種バス年間利用者数（乗合タクシー＋東西循環＋福島交通）	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【生活課】	人	337,441	323,703	323,994	→	☂ (低下)
評価	<p>(状況) 各種バス年間利用者数は323,994人で、前年度と比較し291人増加しましたが、ほぼ横ばい状態です。内訳は、乗合タクシーが5,625人、東西循環バスが58,369人、路線バスが260,000人となっています。</p> <p>(原因) 病院や買い物等、日常生活に密接した利用目的の利用者は増加しているものの、比較的遠距離の移動となる通勤等においては、バスを利用せず、自家用車等を使用することが多いためと考えられます。</p>						目標達成度

基本事項01 総合交通体系の推進

指標②	市内鉄道2駅（須賀川駅・川東駅）利用者数（1日平均乗車人員）	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【生活課】	人	2,396	-	-	→	---
評価	<p>(状況) 須賀川駅の1日平均乗車数は2,307人で、前年度と比較し18人減少しました。また、川東駅の1日平均乗車数については、平成28年度から公表されていないため、前年度との比較はできません。現在、鉄道の運行本数は須賀川駅は上り24本、下り23本、川東駅は上り10本、下り11本が運行されており、前年度と変動はありません。</p> <p>(原因) 市内循環バスの利用者数の増加や須賀川駅との乗り継ぎ時間の利便性の向上を図ったことが、乗車数の維持に効果を上げているものと考えられます。</p>						目標達成度

基本事項02 交通弱者や交通不便地域の解消

指標①	公共交通カバー面積率（乗合タクシーの運行地域面積／可住地面積）	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【生活課】	%	65	65	65	→	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 公共交通カバー面積率は65%で、前年度と同数です。</p> <p>(原因) 乗合タクシーは、路線バスの代替手段であり、平成25年度に運行エリアの再編を行って以降、路線の廃止がなかったことが要因となっています。</p>						目標達成度
		■ (中)					

基本事項02 交通弱者や交通不便地域の解消

指標②	交通手段がなくて困っている市民割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【生活課】	%	-	6.5	-	→	---
評価	<p>(状況) 交通手段がなくて困っている市民割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、平成29年度の各種バス年間利用者数が微増しており、市内循環バスや乗合タクシー事業が認知され、公共交通の利便性は向上していると考えられるため、交通手段がなくて困っている市民割合は減少していると推測されます。</p>						目標達成度

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 総合交通体系の推進
- 基本事項 02 交通弱者や交通不便地域の解消
- 基本事項 03 福島空港の利活用推進

基本事項03 福島空港の利活用推進

	福島空港の利用者数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき	
指標①	【観光交流課】	人	247,706	246,000	259,618	➔	☀ (向上)	
評価	<p>(状況) 福島空港の平成29年度の利用者数は259,618人で、前年度と比較し13,618人増加しました。搭乗率で見ると、札幌便が59.4%から60.3%に、大阪便が56.7%から57.1%に、それぞれ増加しています。チャーター便については、国内線が20便から101便に、国際線が39便から69便に、それぞれ増加しています。</p> <p>(原因) チャーター便の運航が大幅に増加したことや、空港利用助成制度の周知により活用が図られたことなどが、利用者増の原因と考えられます。</p>	(人)						目標達成度 ---

基本事項03 福島空港の利活用推進

	福島空港の定期路線数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき	
指標②	【観光交流課】	路線	2	2	2	➔	☁ (横ばい)	
評価	<p>(状況) 福島空港の定期路線数は、国内線の札幌路線（1日1往復）、大阪路線（1日4往復）の2路線が運航されています。国際線定期便については、東日本大震災以降、運休していますが、国際チャーター便が多数運航されるなど、新たな定期路線就航への兆しが見えています。</p> <p>(原因) 国際線については、東日本大震災における原子力災害による影響が大きいと考えられます。</p>	(路線)						目標達成度 ---

政策 34 住環境の充実

施策 01 快適道路網の整備

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市が管理する道路施設及び都市計画に位置づけされている都市計画道路、市民	道路利用者の安全性や利便性、快適性が確保されています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	道路の整備状況について満足であると思う市民の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【道路河川課】	%	-	74.6	-	
評価	(状況) 道路の整備状況について満足であると思う市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、構成している基本事項の成果指標値が向上しており、施策の成果も向上していると推測されます。						---

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	生活道路の整備促進
基本事項 02	道路維持管理の推進
基本事項 03	橋りょう長寿命化の推進
基本事項 04	都市計画道路の整備

基本事項01 生活道路の整備促進

指標①	市道の改良率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【道路河川課】	%	64.1	64.2	64.3	→	
評価	(状況) 市道の改良率は64.3%で、平成24年度基準値の61.3%より3.0ポイント、前年度と比較し0.1ポイント増加しています。 (原因) 市道 I-38号線志茂工区の事業が完了しており、道路改良事業については総合計画の平成29年度の目標を達成しています。						(向上) 目標達成度 (達成)

基本事項01 生活道路の整備促進

指標②	市道の舗装率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【道路河川課】	%	70.2	70.3	70.4	→	
評価	(状況) 市道の舗装率は70.4%で、平成24年度基準値の69.5%より0.9ポイント、前年度と比較し0.1ポイント増加しています。 (原因) 生活道路等の利用状況を精査し15路線、延長1,680.0mの舗装を実施したことによるものです。						(向上) 目標達成度 ---

基本事項02 道路維持管理の推進

指標①	市が管理する道路照明施設の修繕実施率（総合計画開始時からの累計）	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【道路河川課】	%	18.5	22.0	24.4	→	
評価	(状況) 道路照明施設の修繕率は24.4%で、前年度と比較し2.4ポイント増加しています。 (原因) 須賀川第二小西側の市道 I-19号線において、歩道上の照明灯のうち腐食などが進んだ4基を撤去し、LED照明灯を設置したことによるものです。						(向上) 目標達成度 ---

基本事項02 道路維持管理の推進

指標②	認定市道（Ⅰ級・Ⅱ級幹線）の路面修繕実施率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【道路河川課】	%	20.7	24.1	31.0	→	
評価	(状況) 認定市道（Ⅰ級・Ⅱ級幹線）の路面修繕実施率は31.0%で、前年度と比較し6.9ポイント増加しています。 (原因) 市道 I-23号線（L=290.7m）の舗装修繕を実施したことによるものです。						(向上) 目標達成度 ---

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	生活道路の整備促進
基本事項 02	道路維持管理の推進
基本事項 03	橋りょう長寿命化の推進
基本事項 04	都市計画道路の整備

基本事項02 道路維持管理の推進

指標 ③	道路維持管理上の不具合による事故発生件数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	【道路河川課】	件	2	3	4	→	(横ばい)
評価	(状況) 道路維持管理上の不具合による事故発生件数は4件で、前年度と比較し1件増加しています。 (原因) 降雪等の悪天候が多かったことにより、通常よりも路面状態が悪化したことが要因と考えられます。						目標 達成度

基本事項03 橋りょう長寿命化の推進

指標 ①	橋りょう長寿命化修繕計画における橋りょうの修繕率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	【道路河川課】	%	5.0	5.0	22.2	→	(向上)
評価	(状況) 橋りょう長寿命化修繕計画における橋りょうの修繕率は22.2%で、平成28年度繰越事業分を含めた実績値のため、前年度と比較し17.2ポイント大幅に増加しました。 (原因) 繰越事業分4橋（八沼橋、新栄橋、111号橋、709号橋）を含めた合計12橋が完了したことによります。						目標 達成度

基本事項04 都市計画道路の整備

指標 ①	都市計画道路の整備率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
	【都市整備課】	%	83.9	83.9	84.4	→	(向上)
評価	(状況) 都市計画道路の整備率は84.4%で、前年度と比較し0.5ポイント増加しています。 (原因) 県施行の須賀川駅並木町線（本町工区）が完了したためです。今後は、安全安心な道路として使用できます。						目標 達成度
							(中)

政策 34 住環境の充実

施策 02 快適都市空間の創出

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	秩序ある街並みとやすらぎのある空間が形成されています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	秩序ある街並みとやすらぎのある空間が形成されていると思う市民の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【都市整備課】	%	-	50.7	-	
評 価	(状況) 秩序ある街並みとやすらぎのある空間が形成されていると思う市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、構成している基本事項の成果指標が増加しているため、成果は向上していると推測されます。						---

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	公園緑地等整備保全の推進
基本事項 02	適正な土地利用の推進
基本事項 03	市街地整備の推進
基本事項 04	良好な景観形成・保全の推進
基本事項 05	生活衛生の向上

基本事項01 公園緑地等整備保全の推進

指標①	公園に対する住民満足度	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【都市整備課】	%	-	81.1	-	→	
評価	(状況) 公園に対する住民満足度は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、構成している事務事業の成果指標値が、ほぼ横ばいとなっていることから、横ばい状態と推測されます。						目標達成度

基本事項01 公園緑地等整備保全の推進

指標②	市民一人当たりの都市公園供用面積	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【都市整備課】	m ²	11.36	11.37	11.60	→	
評価	(状況) 市民一人当たりの都市公園供用面積は11.60m ² で、前年度と比較し0.23m ² 増加しています。総合計画の目標値(平成29年度)である10.99m ² は、達成しています。 (原因) 平成29年度は、大黒池防災公園が新たに整備され、供用面積が2.18ha増えたためです。						目標達成度
							(向上) (達成)

基本事項01 公園緑地等整備保全の推進

指標③	公園維持管理上の不具合・トラブル件数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【都市整備課】	件	29	30	31	→	
評価	(状況) 公園維持管理上の不具合・トラブル件数は31件で、前年度と比較しほぼ横ばいです。主な内容は、トイレや遊具など施設の不具合に関するものが9件、樹木の伐採等に関するものが10件、公園の利用やマナーに関するトラブルが6件、その他が6件となっています。 (原因) 樹木の伐採等の件数は、枯木等の早期伐採により、前年度と比較し減少しているものの、トイレや遊具など施設の老朽化による不具合が、増加の傾向にあります。今後は、定期パトロールを引き続き行い、併せて、定期点検を強化し、長寿命化計画に基づく施設の修繕等を行います。						目標達成度
							(横ばい)

基本事項02 適正な土地利用の推進

指標①	違反是正の行政指導を行った建築物等の数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【建築住宅課】	棟	2	0	1	→	
評価	(状況) 違反是正の行政指導を行った建築物(工作物)が1件あり、前年度と比較して1件増加していますが、過去3年間の違反件数は低水準にとどまっています。 (原因) 建築主、施工業者による安全に建物を建てるための意識が醸成されています。今後も、パンフレットの配布や、建築パトロールにより、違反建築防止のための周知等を行っていきます。						目標達成度
							(向上)

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項 01 公園緑地等整備保全の推進
- 基本事項 02 適正な土地利用の推進
- 基本事項 03 市街地整備の推進
- 基本事項 04 良好な景観形成・保全の推進
- 基本事項 05 生活衛生の向上

基本事項03 市街地整備の推進

指標①	市街化区域内の未利用地面積	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【都市整備課】	km ²	3.5	3.4	3.4	➔	☁ (横ばい)
評価	(状況) 市街化区域内の未利用地面積は前年度と同数です。 (原因) 開発行為等による土地利用は進みましたが、未利用地面積の解消にはなりませんでした。	(km ²)					目標達成度

基本事項04 良好な景観形成・保全の推進

指標①	都市景観が良好だと思ふ市民の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【都市整備課】	%	-	82.6	-	➔	---
評価	(状況) 都市景観が良好だと思ふ市民の割合は、実績値を2年に1度実施する市民アンケートによる取得としているため、実績値が未取得となっています。ただし、市庁舎の開庁や須賀川駅並木町線の竣工、市民交流センターのオープンを見据えた新規出店者数が増加したことにより、空き店舗の活用が図られるなど都市景観は向上しており、成果も向上していると推測されます。	(%)					目標達成度

基本事項05 生活衛生の向上

指標①	計画通りに廃棄物が収集運搬されなかった日数の割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【環境課】	%	0	0	0	➔	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度の収集運搬計画日数(平日、年末年始を除く)257日のうち、計画通りに廃棄物が収集運搬されなかった日はありませんでした。委託契約に基づき計画通りに一般廃棄物が収集されています。 (原因) 台風や大雪などの災害がなく、悪天候の影響がなかったため、一般廃棄物の収集運搬に支障がなく、計画どおり収集しました。	(%)					目標達成度
							(達成)

基本事項05 生活衛生の向上

指標②	生活衛生に関する苦情件数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【環境課】	件	29	47	38	➔	☂ (低下)
評価	(状況) 生活衛生に関する苦情件数は38件で、前年度と比較し9件減少しました。主な苦情としては、「雑草の繁茂」が23件、「土地の適正管理」が8件、「ハチの巣駆除」が4件、「その他」が3件となっています。 (原因) 市ホームページや市広報紙で、敷地の適正な管理について周知するとともに、土地の所有者や管理者に対しては、口頭・文書による適正管理の要請を行っています。	(件)					目標達成度

政策 34 住環境の充実

施策 03 安全・安心な水、いつでも、いつまでも

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、河川水質	安定して安全・安心な水を利用しています。 良質な水環境を形成するために生活排水処理を適切にする世帯が増加しています。

施策の成果状況と評価

指標①	水質異常・断水等の件数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【水道施設課】	件	9	9	8	→
評価	(状況) 水質異常・断水等の件数は8件で、前年度と比較し1件減少しました。全件が漏水による断水で、水質の異常は発生していません。 (原因) 施設等の維持管理及び水質検査を適正に実施していることが上げられます。					目標達成度	---

指標②	汚水処理率（下水＋農集排＋合併浄化槽）	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【下水道施設課】	%	80.5	81.2	81.6	→
評価	(状況) 汚水処理率は81.6%で、前年度と比較し0.4ポイント増加しました。また、平成24年度基準値74.9%との比較でも6.7ポイント増加し、順調に成果が向上しています。 (原因) 下水道事業においては、管路整備がL=3,763m、公共ます設置がN=175箇所でした。農業集落排水事業においては、稲・松塚地区が完了し、管路整備がL=2,579m、公共ます設置が108箇所だったことから、汚水処理施設を使用できる世帯が増加しています。					目標達成度	---

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 重要施設の耐震化
基本事項 02 基幹管路の耐震化
基本事項 03 水質検査の充実
基本事項 04 水道施設の適正管理の推進
基本事項 05 下水道の整備促進
基本事項 06 下水道の普及啓発の推進
基本事項 07 下水道施設の維持管理の推進

基本事項01 重要施設の耐震化

指標①	重要水道施設の耐震化率（浄水施設）	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき														
	【水道施設課】	%	39.4	39.4	39.4	→	(横ばい)														
評価	(状況) 浄水施設の耐震化率は39.4%で、平成24年度基準値と同数です。なお、平成28年度福島県の浄水施設耐震化率の24.0%と比較すると15.4ポイント上回っています。 (原因) 基準値は、全浄水場施設能力37,565m3/日（全10施設）のうち14,800m3/日（7施設）の耐震化が完了しています。改築を行っている西川浄水場（19,500m3/日）が完了（平成33年度完了予定）することで、浄水施設の耐震化率は91.3%となる見込みです。	<table border="1"> <caption>重要水道施設の耐震化率 (実績値)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>39.4</td></tr> <tr><td>H25</td><td>39.4</td></tr> <tr><td>H26</td><td>39.4</td></tr> <tr><td>H27</td><td>39.4</td></tr> <tr><td>H28</td><td>39.4</td></tr> <tr><td>H29</td><td>39.4</td></tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	H24	39.4	H25	39.4	H26	39.4	H27	39.4	H28	39.4	H29	39.4	目標達成度
	年度	実績値 (%)																			
H24	39.4																				
H25	39.4																				
H26	39.4																				
H27	39.4																				
H28	39.4																				
H29	39.4																				

基本事項02 基幹管路の耐震化

指標①	基幹管路の耐震化率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき														
	【水道施設課】	%	43.8	43.8	43.8	→	(横ばい)														
評価	(状況) 基幹管路の耐震化率は、前年度と同じ43.8%ですが、平成24年度基準値の42.6%と比較すると1.2ポイント増加しており、成果が向上しています。しかし、平成28年度福島県の基幹管路耐震化率49.1%と比べると5.3ポイント下回っています。 (原因) 平成29年度は、基幹管路以外の優先する管路布設替事業を行ったためです。	<table border="1"> <caption>基幹管路の耐震化率 (実績値)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>43.8</td></tr> <tr><td>H25</td><td>43.8</td></tr> <tr><td>H26</td><td>43.8</td></tr> <tr><td>H27</td><td>43.8</td></tr> <tr><td>H28</td><td>43.8</td></tr> <tr><td>H29</td><td>43.8</td></tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	H24	43.8	H25	43.8	H26	43.8	H27	43.8	H28	43.8	H29	43.8	目標達成度
	年度	実績値 (%)																			
H24	43.8																				
H25	43.8																				
H26	43.8																				
H27	43.8																				
H28	43.8																				
H29	43.8																				

基本事項03 水質検査の充実

指標①	水質基準不適合率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき														
	【水道施設課】	%	0	0	0	→	(向上)														
評価	(状況) 水質基準不適合率は0%です。1年間で水道法に基づく基準項目で218回の水質検査を実施した結果、水質基準不適合回数は0回であり、目標を達成しています。 (原因) 水道法に基づく基準項目で水質検査を実施し、安全で安心な水道水の供給を確認しているためです。	<table border="1"> <caption>水質基準不適合率 (実績値)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>0</td></tr> <tr><td>H25</td><td>0</td></tr> <tr><td>H26</td><td>0</td></tr> <tr><td>H27</td><td>0</td></tr> <tr><td>H28</td><td>0</td></tr> <tr><td>H29</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	H24	0	H25	0	H26	0	H27	0	H28	0	H29	0	目標達成度
	年度	実績値 (%)																			
H24	0																				
H25	0																				
H26	0																				
H27	0																				
H28	0																				
H29	0																				
							(達成)														

基本事項04 水道施設の適正管理の推進

指標①	水道施設維持管理上の不具合・トラブル件数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき														
	【水道施設課】	件	1	1	1	→	(横ばい)														
評価	(状況) 水道施設維持管理上の不具合・トラブル件数は、前年度と同じ1件（岩淵浄水場6号急速ろ過機電動弁）です。 (原因) 水道施設維持管理等を年間を通して適正に実施しているためです。	<table border="1"> <caption>水道施設維持管理上の不具合・トラブル件数 (実績値)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>1</td></tr> <tr><td>H25</td><td>0</td></tr> <tr><td>H26</td><td>5</td></tr> <tr><td>H27</td><td>1</td></tr> <tr><td>H28</td><td>1</td></tr> <tr><td>H29</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (件)	H24	1	H25	0	H26	5	H27	1	H28	1	H29	1	目標達成度
	年度	実績値 (件)																			
H24	1																				
H25	0																				
H26	5																				
H27	1																				
H28	1																				
H29	1																				

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 重要施設の耐震化
基本事項 02 基幹管路の耐震化
基本事項 03 水質検査の充実
基本事項 04 水道施設の適正管理の推進
基本事項 05 下水道の整備促進
基本事項 06 下水道の普及啓発の推進
基本事項 07 下水道施設の維持管理の推進

基本事項05 下水道の整備促進

指標①	下水道整備率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【下水道施設課】	%	71.5	73.9	75.6	→	☀️ (向上)
評価	集合処理						目標達成度
	<p>(状況) 下水道整備率は75.6%で、前年度と比較し1.7ポイント増加し、平成24年度基準値69.1%との比較でも6.5ポイント増加しており、順調に成果が向上しています。</p> <p>(原因) 下水道事業では、和田道地区、森宿地区および小作田地区の管路整備を実施したことにより、下水道施設を使用できる区域面積は、前年度より21.9ha増加し、整備面積の累計が947.6haとなったためです。</p>						---

基本事項05 下水道の整備促進

指標②	農業集落排水利用可能世帯割合	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【下水道施設課】	%	92.4	99.0	100	→	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 農業集落排水処理施設整備事業が完了し、農業集落排水利用可能世帯割合は前年度と比較し1.0ポイント増加し100%となりました。また、平成24年度基準値15.2%から84.8ポイント増加し、目標を達成しました。</p> <p>(原因) 大桑原、上江花、稲・松塚地区の3地区における農業集落排水事業では、大桑原及び上江花地区は完了しており、事業最終年度である、稲・松塚地区の管路整備が完了したことで、宅内に公共ますを設置し使用できるようになった家屋数が108戸増加し、ます整備済数の累計は619戸となったためです。</p>						目標達成度

基本事項06 下水道の普及啓発の推進

指標①	公共下水道 水洗化率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【下水道施設課】	%	79.4	79.7	77.7	→	☔️ (低下)
評価	<p>(状況) 公共下水道水洗化率は77.7%で、前年度と比較し2.0ポイント減少しています。また、平成24年度基準値79.3%との比較でも、1.6ポイント減少しています。</p> <p>(原因) 処理区域内水洗化人口は前年度より679人増加しています。しかし、管路整備により供用開始区域が拡大し、処理区域内人口が1,774人増加したことや、公共下水道への接続は個人負担のため接続まで時間を要することなどにより、指標値が減少しました。</p>						目標達成度

基本事項06 下水道の普及啓発の推進

指標②	農業集落排水施設 水洗化率	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【下水道施設課】	%	86.2	88.8	88.5	→	☔️ (低下)
評価	<p>(状況) 農業集落排水施設水洗化率は88.5%で、前年度と比較し0.3ポイント減少しています。また、平成24年度基準値93.1%との比較でも、4.6ポイント減少しています。</p> <p>(原因) 処理区域内水洗化人口は前年度より104人増加しています。しかし、稲・松塚地区の施設整備が完了したことにより、供用開始区域が拡大し、処理区域内人口が164人増加したことや、農業集落排水への接続は個人負担のため接続まで時間を要することなどにより、指標値が減少しました。</p>						目標達成度

□基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 重要施設の耐震化
基本事項 02 基幹管路の耐震化
基本事項 03 水質検査の充実
基本事項 04 水道施設の適正管理の推進
基本事項 05 下水道の整備促進
基本事項 06 下水道の普及啓発の推進
基本事項 07 下水道施設の維持管理の推進

基本事項07 下水道施設の維持管理の推進

指標①	管渠維持管理上のトラブル件数（陥没、詰まりによる吹き出し）	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【下水道施設課】	件	4	3	0	→	☀ (向上)
評価	(状況) 管渠維持管理上のトラブル件数はありませんでした。 (原因) 作業員による定期的なパトロールでマンホール等の点検を実施し、管清掃や修繕箇所の把握に努め、必要に応じて迅速に対応しているためです。	(件) 					目標達成度
							☑ (達成)

基本事項07 下水道施設の維持管理の推進

指標②	汚水処理場に関する維持管理不具合・トラブル件数	単位	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【下水道施設課】	件	2	0	0	→	☀ (向上)
評価	(状況) 汚水処理場に関する維持管理不具合・トラブル件数はありませんでした。 (原因) 緊急通報システムを計画的に導入して、異常等に対し迅速に対応しています。また、専門的知識を有する業者への業務委託により、処理施設の適切な運転管理や汚水処理が行われているためです。	(件) 					目標達成度
							☑ (達成)